

十字園だより

第126号



**鬼は外
福は内**



毎年節分の行事では、年男
年女の方が袴を着ています。
今年も、ひのき寮3名、いぶ
き寮1名、けやき寮3名、さ
つき寮2名の計9名の方が年
男、年女でした。

毎年のことなのですが、今
年の鬼も迫力満点!!職員も気
合が入ります。

園長・課長から年男年女の
紹介をされると、廊下の方か
ら太鼓の「どん、どん」とい
う音が近付いてきます。

「うあー、鬼だぞー!!」
利用者の方はと言うと...

鬼はまだか豆まきはまだかと
楽しみにされている方もいれ
ば、鬼を怖がられる方も...

皆さん最後は笑顔でケーキ
を美味しく召し上がられ
ていました。
(吉田真純)

43年の重み



課長
久根内 恵子

と直筆の手紙がそつとおい
てありました。

「よく生きることが難しいものだと思います。よく生きるには、大きな勇気が必要だと思います。気持ちを表現することはよく生きることに通じますが、勇気がなければできないことです。」(一部抜粋)

家に居ても、ふとしたときに十字園のことが気になる、そんな日々は私だけではなくどの職員も同じだと思います。昨年の夏、43年分の書類の整理を行いました。箱の中から次々出てくる記録や写真について手が止まること度々…。50名が70名となり、16年前に100名となるまでの道のりが、事細かに残っています。開設当時は、学校を卒業したばかりの若い職員がほとんどで、まさに手探りで十字園の基礎を築き上げたと書いてあります。

そして、「つくし会」と書かれた箱も一つ出てきました。箱の一番上に、「中村与吉」

ふつう



課長補佐
南波 龍太

『普通ってどういう意味？』病院の待合室で騒ぐ娘が自分の顔を覗き込む。目線を泳がせながら、普通の意味を咀嚼する。基準があつて、その基準に沿う事が普通とされている。では、その基準を決めるのは誰なのか。恐らく、多数派の意見が基準とされていると思う。では、必ずしも多数派の意見が正しいのだろうか。アメリカの自閉症協会が、ニューロティピカル(以下、Nと記)という言葉を使っている。

定型発達症候群つまり健常者と言われる多数派の事である。その健常者の特性を以下のように述べている。

- ① Nは全面的発達をし、恐らく出生した頃から存在する。
- ② 非常に奇妙な方法で世界を見る。時として、自分の都合に

よって真実を歪めて嘘をつく。

- ③ 社会的地位と認知のために生涯争ったり、自分の欲の為に他者を蔑にかけたりする。
- ④ TVやCMなどを称賛し、流行情を模倣する。
- ⑤ 特徴的なコミュニケーションスタイルを持ち、はっきり伝え合うより、暗黙の了解で、モノを言う傾向がある。しかし、それはしばしば伝達不良に終る。
- ⑥ Nは社会的懸念へのめり込み、妄想、強い脅迫観念に特徴付けられる、神経性生物学上の障害である。
- ⑦ 自閉症スペクトラムを持つ人と比較して非常に高い発症率を持ち、悲劇的にも1万人に対して9624人である。

多数派である健常者を基準とした社会、その普通って本当に普通なのか、見方や立場が変われば、普通の基準も変わってくる。多様性を認めるならば、フツウという言葉はいらなくてもいい。

存分に騒げ娘よ、とニンマリしている自分に妻から冷たい視線が…。愛の基準とは…。

ひのき寮

主任 伊藤 孝之

今年度も利用者の皆様の笑顔、そしてご家族の皆様のご理解とご協力を頂きありがとうございました。

新しい男性利用者をお受けしたり、年度半ばにも関わらず寮の異動をお願いしました。そして、快く居室変更に応じて下さりまして、ありがとうございました。

今年度は外へ出かけたり、美味しいものを食べに行ったり、楽しい事に力を入れました。やはり外の空気を吸うだけでも皆さんの表情は和らぎ、美味しいものを食べ、更に笑みがおぼれました。来年度も継続し外に出る機会を増やしていきたいと思えます。

今年度も色々ありがとうございました。来年度も引き続き宜しくお願い致します。



カラオケ外出

去る11月30日、女池のカラオケBOX「BanBan」へ利用者4人で行ってきました。吉幾三を繰り返し熱唱する方。審査員のようにじっと聴いて楽しむ方。歌と楽器遊びの両方をとても楽しんでた方。歌を聴きながらお食事を味わうことも一緒に楽しんでいた方々など…。

皆さんで特別な時間を過ごすことができました。(松木)



ひのき寮 余暇支援

ひのき寮の皆さんは今年度も色々な場所へ外出をしました。紫雲寺記念公園でバーベキュー、温泉で足湯、カラオケ、里見で豪華な外食など…。どの行事も天候に恵まれ、絶好の外出日和でした！ひのき寮の皆さん、とても楽しまれていた様子でした！

来年度もひのき寮の皆さん、職員共に、色々な行事を通してたくさんの思い出を作っていきたいと思えます。(丸山)



新しい利用者さんをご紹介します！



山口 春彦さん

11月に入所した山口春彦です。住まいは寺尾東に住んでいます。今まで明生園に行っていました。今度は十字園の『はこちゃん』になりました。お世話になります。

親子ともども、宜しくお願いいたします。(母代筆)



上杉 多喜夫さん

ひのき寮に1月に入所されました。何事にも一生懸命な方で、毎日仕事も頑張っています。愛嬌のある方で、すぐにひのき寮の皆さんと仲良くなると思います。

これから宜しくお願いします。(代筆・担当 丸山)

いぶき寮

主任 藤田富美代

ご家族の皆様、いつもご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

今年度に入り、一部ではありますが、ご利用者の寮の異動や退所等の動きがありました。皆さんも日々を過ごしながら、その時のごとはそれぞれの気持ちで感じていられたことと思います。

いぶき寮は高齢の方、介助度の高い方が主に生活されています。支援にあたり、専門性を持って行うこと、加えて笑顔で過ごしていただける環境作りに努めてきました。様々な場面の中で見せてくれる笑顔に癒されながら、これからも皆さんの応援団として寮職員一同頑張っていきたいと思っております。

足湯と外食

9月16日、岩室の足湯と梅の花へご飯を食べに行きました。足湯では、恐る恐るお湯に浸かる方もいらっしゃいましたが、足をもみもみして気持ちよさそうにされていました。

そして、お楽しみのご飯！梅の花で豪華なお食事を食べました。どれもこれも美味しそうに、皆さん夢中で召し上がっていました。ペロリと完食！皆さん笑顔がこぼれ、お腹もいっぱいで大満足の日になりました。(中澤)



いぶき寮 余暇支援

いぶき寮では今年度より外出の機会を増やす為、余暇外出の時間を多く作りました。外出先は利用者の皆さんの希望を聞き計画を立てます。一番人気は皆さん大好きな喫茶外出。亀貝のコメダ珈琲店は皆さんの行きつけです。他にもお買い物や外食等様々な場所へお出掛けします。外出先では皆さん素敵な笑顔を見せて下さいます。これからも沢山の外出を計画していきたいと思っております。(竹田)



けやき寮

主任 高橋 正人

今年度も、ご家族の皆様のご理解とご協力を頂き感謝を申し上げます。

行動障がい等をお持ちの方々を支援させて頂いていく私達職員にとって、大きな気づきのある出来事がありました。障がい特性を考慮し、他利用者さんからの干渉を受けず、静かな環境で過ごしていただけるよう生活場所の変更を検討した結果、以前より穏やかに生活できるようにした事例がありました。この事から生活する上での環境面の大きさに改めて気づかされました。専門性を含めた総合的な分析の上で、来年度も寮職員一同、チャレンジ精神を持って取り組んでまいります。

来年度も宜しくお願致します。

外出大好き！！ けやき寮



朝は寝ぼけ眼でも、外出前の支度は妙にスピーディ。弾む会話、ほころぶ表情、膨らむ期待を車に乗せ、私達は沢山おでかけしました。輝く目、興味津々な眼差し、歓声、驚愕!? 童心に返った沢山の表情が、職員にとっては何よりのお土産。今年度の寮目標の一つ、「外出の機会の増加」は無事に達成しました。外出ができる、暖かい春が待ち遠しい今日この頃、けやき寮一同。(玉井)



けやき寮の 環境 整備

工事を4カ所行いました。デイルーム・和室の畳 → フローリング、防音室の整備、トイレのカーテン → 扉。特に、フローリングにしたことでトラブルがなくなりました。トイレの使用頻度が高い為、昼食後の清掃を基本とし、その他の時間帯も、こまめに清掃することを心がけようと取り組み始めています。(鈴木大介)



新しい利用者さんをご紹介します！

僕は毎日外注や切り絵の作業を頑張っています。時々みんなと一緒にウォーキングやドライブにも行きます。僕は毎日たのしいです。♪♪(裕之)
10月入所以来新しい環境に適應出来るか心配しましたが職員の皆様のおかげで毎日穏やかに過ごしております。(母)



川口裕之さん

さつき寮

主任 小柳 雅美

今年度のさつき寮の目標は、「自立支援(個別対応・個別外出の充実)〜専門性をもって支援にあたる〜」でした。

さつき寮では毎日の日課がほぼ同じようなリズムで進みます。これは自閉傾向の方が多いさつき寮の特徴です。その中で、居場所や過ごし方はそれぞれの方に合わせて選択肢をご用意することで、個別対応を行っています。

また個別外出については、全員が1回ずつ寮行事と昼食外出に参加されました。そして毎月、約半数の方が独自サービスを利用して外出されました。

今年度もご家族から貴重なご意見をたくさん頂戴しました。来年度も皆様と共に充実した生活へ向けて支援してまいります。

カラオケ外出

11月18日、寮行事でカラオケへ出掛けました。天候にも恵まれ和やかな雰囲気の中、出発しました。カラオケバンバンに着き、ドリンクを手元に置き、カラオケの画面を楽しんだり、音とリズムに合わせて皆さんの表情もにこやかでした。昼食も笑顔と共に終え、あっという間の外出でした。皆さんカラオケの余韻に浸りつつの帰園となりました。(小田)



さつき寮 余暇支援

2016年度、さつき寮では沢山の女子会(寮行事)を行いました！女子会といえば、ランチ！昼食外出でお蕎麦屋さんや喫茶店などへ出掛けて美味しいランチを楽しみましたね。他にもカラオケで熱唱したり、動物園で可愛い動物達と触れ合いました。いぶき寮との合同外出も出来て、良い思い出が作れました。来年度も果物狩りや温泉へも出掛けて、女子会を満喫しましょう！(馬場)



新しい利用者さんをご紹介します！



川上 優さん

11月よりお世話になってます。やさしい職員さんに囲まれて徐々に園の生活にも慣れてきている様です。お歌を聞いたり歌ったり、ボール遊び、車でお出掛けが大好きです。笑うと出るエクボがチャームポイントです。いつぱい笑って楽しく日々過ごせる様に願ってます。(母代筆)



渡辺則子さん

明生園から来た渡辺則子です。十字園さんのような施設は初めてで、まだ、とまどっています。好きなことは、音楽を聴くことです。好きなものは、お肉です。野菜は苦手です。一人では、身の回りのこともあまりできませんが、少しずつ、慣れていこうと思います。お願いします。(母代筆)

医 療

日々思っていること



課長 野口 恵

今年は今までになく多くの方が十字園を退所され、新しい方が入所されました。退所の理由は其々ですが、年齢的にも身体的にも介護施設の方が相応しいと思われる移行された方もおられ、65歳を満了して病気や機能低下のために移行された方もいらっしゃいます。又、今年是比较的若い世代の方が何人か誤嚥性肺炎と診断されています。

知的障がいの方は実年齢よりプラス10歳と言ふ言葉を思い浮かべます。今までは多少の事は撥ね返す事が出来ていたものが年々体力・抵抗力が落ちてきているのではないかと感じます。

高齢化という未知のステージを、今十字園は手探りで進んでいます。

私たち医療も力及ばない事がたくさんありますが、ご利用者やご家族の心に寄り添った支援をしたいと思っております。



人権擁護委員会

「どうすれば虐待はなくなるのか」

支援員 近風 富子

今年度はこのテーマを軸に虐待に繋がりそうな行為発見のためのチェックリスト、職員のメンタルケアに重点をおき活動してきました。職員全員に日々の悩みやストレスに感じている事を書きだしてもらい、座談会を行いました。

常に自分自身と向き合わなければいけない環境のなかで陥りやすい悩みは何か探し、その悩みを職員全員で共有し全員で解決にむけて取り組んでいくこと。それが安心と笑顔に繋がり、入所されている皆様へのより良い支援に繋がっていくと思えます。

今年も多くの虐待のニュースや人権を無視した痛ましい事件が報道され、お心を傷められたことと思います。入所されている皆様は笑顔で生活できる、ご家族の皆様が安心して家族を託せる職員、笑顔があふれる施設になれるように努力していきたいと思っております。



防 災

防災と防犯について



支援員 木村 崇

近年、日本は、東日本大震災による津波と福島第一原発事故によって、危機管理の重要性が求められています。十字園においても、有事の際には配慮を要する方が多く生活しています。有事の際には、被害の拡大を防ぎ、迅速な対応が必要となります。

火災における被害を防ぐ為に、スプリンクラーや消火器、煙や熱感知器などの設備を設置しています。有事が発生した時は、的確な対応ができるように毎月1回、様々な災害を想定した訓練を実施しています。毎月行っている訓練なので、ほとんどの利用者の方は、落ち着いて職員の避難指示に従い、避難する事が出来ています。また、職員の方も、訓練を繰り返し行う事で、的確な対応とスムーズな避難誘導が出来ています。



利用者の方達の生命を守るという点においては、平成28年に発生した神奈川県障害者施設の殺傷事件を受け、不審者等への対応を行う為、防犯マニュアルを作成しました。利用者の方達の生命を守り、安心して安全な生活が送れるよう、防災と防犯の両面から、しっかりと取り組んでいきたいと思えます。